

# やまぐちピースフォーラム2022開催報告

## 次世代へつなぐ平和への思い

「核兵器をなくしたい」という願いの実現のため、自治体首長・被爆者・市民が一緒に開催しているやまぐちピースフォーラム。8月5日、KDDI維新ホールにて約270名の参加で開催しました。

文責：編集部

### オープニング

(財)山口県原爆被爆者支援センターゆだ苑の折出眞喜男さまのピアノ演奏からスタート。「ふるさと」「荒城の月」「見上げてごらん夜の星を」の3曲のスペシャルメドレーを披露していただきました。



### 第1部 伝えたい！山口県で感じる平和

#### 子どもたちや次の世代に伝えたいメッセージ

第1部では、まず初めに、オープニングで「ピアノ演奏をしてくださった折出さまより、子どもたちや次の世代に伝えたいメッセージ」というテーマでお話がありました。折出さんからは、当時13歳で入市被爆し、たぐさんの同級生を亡くされた経験から、「今の平和はその犠牲の上に成り立っているのです。我々はその犠牲者の想いを無にするこなく、平和な日本を築き上げていかななくてはいけない」と力強く話されました。

また、被爆者から聞いたお話や、平和についてのお話を県内各地域で次世代に語り継ぐ活動をされているコープやまぐちピースサポーターの皆さんからは、「私の伝えたい平和」として、平和への第一歩は、過去の戦争体験を知ることから、「一人は、一人ひとり違うので、平和のために話し合いましょ」などのスピーチが行われました。

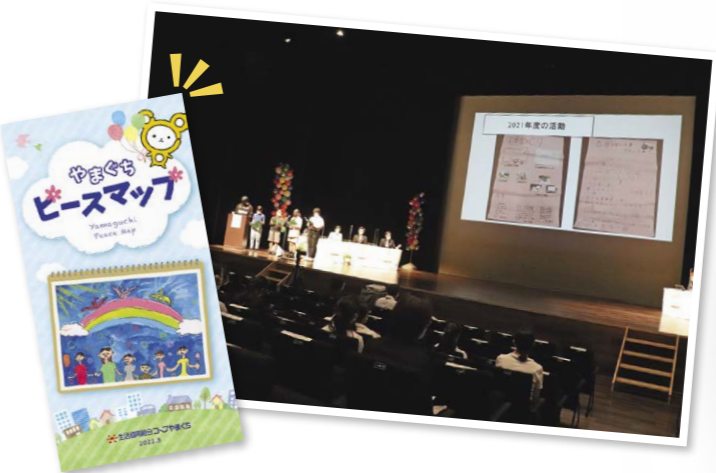


#### コロナ禍でも自分たちができる平和活動を

次に、戦争について学び、自主的に平和活動に取り組むコープやまぐちKidsピースサポーター(澤大樹さん、河村奏音さん、古谷日満里さん、大木利咲さん、谷崎陸さん)が、これまでの活動についての発表を行いました。一昨年から今年にかけて、コロナ禍で戦跡でのフィールドワークができなくなるなど、不測の事態もありました。しかし、今できることを考え、自分たちの家の近くにある地域の戦跡を自主的にめぐり、新聞や感想文・感想画・パワーポイントなどにまとめ共有したことなどの活動をしてきた様子が紹介されました。コロナ禍であっても活動を止めずにこれからも平和について考えていきたいという力強い意気込みを述べられました。

また、今年3月に完成したピースマップの表紙には、Kidsピースサポーターさんの絵が採用されました。「世界中の人たちが笑顔で手を繋いでいられる世の中であらうように」と願いが込められています。

コープやまぐちピースマップについて詳しくは、こちらをご覧ください。



### 第2部 山口県版平和首長会議

#### 次世代につなぐ平和への想い

第2部では、県内8市町の市長・町長副町長の皆さまから「次世代につなぐ平和への想い」という視点で、それぞれの市町で取り組まれていることや、市民と一緒に取り組みたいことについて、お話を聞かせいただきます。それぞれ、各市町村で行っている平和教育や平和活動についてお話をいただき、「戦争の悲惨さを伝え、核兵器廃絶を訴え続けるのが大切である」と再認識されました。また、ピースフォーラムの最後には、「未来の子どもたちに伝えていきたいこと、私にとっての平和について色紙にメッセージをいただきました。(順不同)

#### 一 地に空に平和を

山口市 伊藤和貴 市長

物理学者の湯川秀樹博士がおっしゃった、広島市の平和公園内にある「原爆の子」の像の下の鐘に刻んである言葉です。まだまだこの先この言葉の意味を考えたいと思っています。



#### 一心

長門市 江原達也 市長

長門市は「みんなちがってみんない」の

#### 一 平和の兆し

柳井市 井原健太郎 市長

平和の兆しは待つのではなく、みんなで作っていくという思いでピースフォーラムの益々の発展をお祈りしたいと思っています。



#### 四つ葉のクローバーを見つけるために三つ葉のクローバーを踏みしめてはならない

美祿市 篠田洋司 市長

我々は今こそ三つ葉のクローバーを大事にする、周りの方々のささやかな幸せを大事にするという正義感や倫理観が大事ではないかと思っています。



#### 一 命

周南市 藤井律子 市長

戦争や原爆のない世の中であればこそ人は自由な環境で生き抜くことができ、与

#### 一 源

周防大島町 藤本浄孝 町長

えられた命を全うできると思います。大切な命を全うできること、これぞ平和の証であると思います。



#### 一 NO MORE...

田布施町 東浩一 町長

絶対に繰り返さないということが平和を考える上での原点だと思います。私の気持ちの隅にいつもある言葉です。書き添えていただきました。



#### 一 至誠惻怛

平生町 高木哲夫 副町長

目上には誠を尽くし、目下には慈しみをもちて接するということです。この気持ちをもって生きることが人としての基本であり正しい道、平和への道につながると思っています。



#### 参加された方の感想

戦争によって多くの人が亡くなったこと、今の平和が戦争の上に成り立っていることを改めて実感しました。平和が当たり前だと思いがちでしたが、そうではないんだということをもっと多くの人たちが知るべきだと感じました。若い世代の人たち、子どもたちにも平和について考えていってほしいです。参加して良かったです。(40代)

平和にみんなが笑顔(10代)  
初めて参加させていただきましたが、3年ごとに行われるやまぐちピースフォーラムは、戦争のことを思い出させ、平和が大事ということを忘れない1日になると感じました。(70代以上)  
父母は、昭和一桁生まれで、戦争を体験した世代でした。平和への想いも語って、少しですが当時の話を聞かせてくれたので、子や孫に、私が伝えなくてはと今思っています。わが家のピースフォーラム始めます。(60代)

コープやまぐちの平和活動について詳しくは、こちらをご覧ください。

